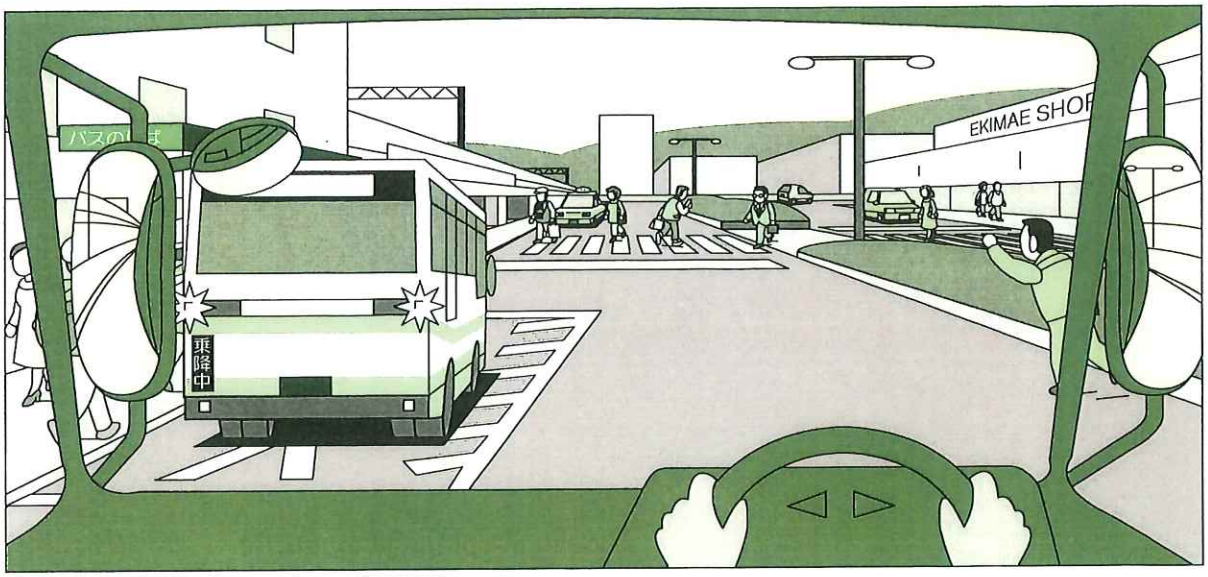
危険予知訓練（KYT）シート：交通事故防止編

あなたならどうしますか？

〔第176回〕「駅前のバス停付近」

状況　あなたは、帰宅時間帯、人の行き来の多い駅前のバス停に差しかかりました。自車の左側にはバスが停車しています。また、この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



◆どのような危険がありますか？

◆どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

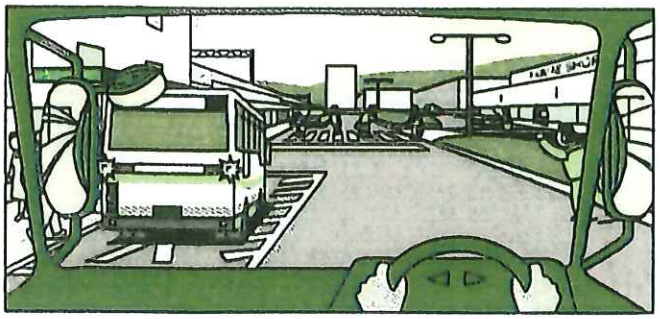
（解説・9面）

（3面）

危険予知訓練（KYT）シートの解説

▶交通事故防止編

あなたは、帰宅時間帯、人の行き来の多い駅前のバス停に差しかかりました。自車の左側にはバスが停車しています。また、この場面にはどのような危険がありますか。また、危険を避けるためにはどのような運転をすればよいでしょうか。考えてみましょう。



どのような危険がありますか？

①道路を横断してきた歩行者を見落として衝突する危険があります（図1）。

②発車してきたバスと衝突する危険があります（図2）。

③バスの死角から飛び出した歩行者や横断歩道を横断してきた歩行者と衝突する危険があります（図3）。

図1

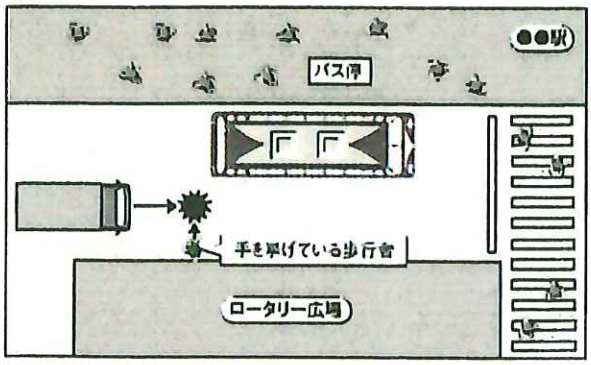


図2

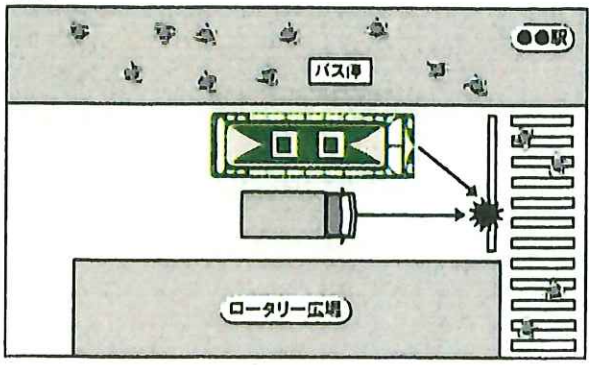
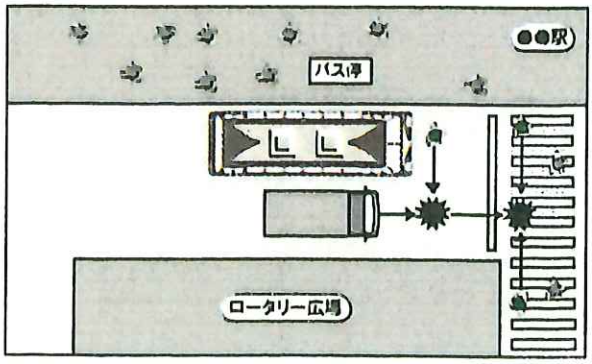


図3



どのような運転をすれば危険を避けることができますか？

①この場面では、左側の大きなバスに注意が向きがちですが、バスのみに注意が集中すると、自車の右前方にいる歩行者を見落とすおそれがあります。歩行者は手を挙げて駅の方を向いています。歩行者は「トラックに合図して横断を開始すれば止まってくれるだろう」と考え、安易に横断してくることがあります。この場面では、歩行者の横断を備えておく必要があります。人の行き来の多い場所では、注意を1か所に偏らせずに周囲を万遍なく確認しながら慎重に運転してください。

②バス停にバスが止まっている時は、しっかりその動静を確認しましょう。出発しそうな時は必ず停止して、バスの発進を優先させてください。また、自車の運転でバスが急ブレーキを踏むと、乗客が転倒するなどの車内事故の原因になります。バスの運転者に急ブレーキを踏ませない運転を心がけましょう。

③バスが発車せずに、順調に側方を通過していても油断は禁物です。バスの死角から歩行者が飛び出してくる危険があるからです。側方を通過している時は、常に死角からの飛出しを予測しておきましょう。また、通勤退勤時間帯の駅周辺は、急いでいる人が周囲の状況を確認せずに道路を横断してくることがあります。人の行き来の多い駅前では、歩行者の危険な横断を予測して、いつでも止まれるよう徐行での走行を徹底しましょう。また、横断歩道の手前では一時停止して、しっかり安全を確認してから通過しましょう。